

平成20年度 学会誌等論文発表

表 題	氏 名	雑 誌 名	巻(号)・頁・年(西暦)	抄録No.
Identification and Characterization of Two Strains of Human Parechovirus 4 Isolated from Two Clinical Cases in Fukuoka City, Japan	Kiyoko Wakatsuki Daisuke Kawamoto Hiroshi Hiwaki Kanao Watanabe Yoshida Hiroshi	Journal of Clinical Microbiology	Vol. 46 (No. 9), 3144-3146, 2008	1
LC-MS/MS によるヒト血清・尿中のヒヨスチアミンおよびスコポラミンの分析	小西 友彦 赤木 浩一 畑野 和広	食品衛生学雑誌	49(4), 266 ~ 271, 2008	2

学会誌等論文発表抄録

1. Identification and Characterization of Two Strains of Human Parechovirus 4 Isolated from Two Clinical Cases in Fukuoka City, Japan

若月 紀代子・川本 大輔・樋脇 弘  
渡邊 香奈子（新潟県保健環境科学研究所）  
吉田 弘（国立感染症研究所）

Reverse transcription-PCR targeting the VP0 gene of human parechoviruses (HPeVs) was used to identify two isolates from two Japanese children's stool specimens. Molecular analysis revealed that these isolates belonged to HPeV type 4, and their nucleotide identity in the P1 region was 85.0%.

2. LC-MS/MSによるヒト血清・尿中のヒヨスチアミンおよびスコポラミンの分析

保健科学課 小西 友彦・赤木 浩一  
畑野 和広

食品衛生学雑誌

LC-MS/MS によるヒト血清・尿中のヒヨスチアミンおよびスコポラミンの分析法について検討した。LC 条件は ODS カラムを用いて移動相に陽イオン分析用イオンペア試薬である IPCC-MS3 を添加し水 - メタノール系でグラジエント分析した。イオン化はエレクトロスプレーイオン化ポジティブモードで行った。試料の前処理には Oasis HLB カートリッジおよび PSA カートリッジを用いた。血清・尿にヒヨスチアミンおよびスコポラミンを試料中濃度として 0.2 および 10 ng/mL となるように添加した場合の回収率は 86.0 ~ 105% で、検出限界はいずれも 0.02 ng/mL であった。本法を用いてチョウセンアサガオの喫食による中毒患者の血清 4 検体および尿 3 検体について分析した結果、血清からヒヨスチアミンおよびスコポラミンが 0.45 ~ 3.5 ng/mL, 尿から 170 ~ 670 ng/mL の範囲ですべての検体から検出された。